

## 第九十五条修正案

発行年	1910
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10114/659">http://hdl.handle.net/10114/659</a>



第九十五條修正案 梅謙次郎提出

(理由) 法律行為ノ善良ノ風俗ニ反スルコトヲ得サルコトハ羅馬法以來 (X. 116 pr. D.)

de iuris iudicis jura antiqua § 17) 法律者ノ常ニ說シ所ニシテ國民法ヲ除ク外外國ノ立法例モ亦此規定ヲ採用セリ是レ蓋シ我法典ノ之ヲ取レル所以ニシテ又原案ニ之ヲ存シタル所以ナルヘシ然リト雖モ本質ノ見ル所ニ據レハ是レ頗ル法律ト道德トヲ混同シタル規定ニシテ開明ノ今日ニ在リテハ到底存スルコトヲ得サルモノナリ蓋シ風俗ヲ害スヘキ行為ハ多クハ公

ノ秩序ヲ害スヘキモノナルヲ以テ其公ノ秩序ニ反スルノ理由ニ依リ之ヲ無効トスルハ則チ可ナリト雖モ公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反スル行為ト云ハハ必ス後既ハ公ノ秩序ニ關係ナキ行為ニシテ而モ道德上善良ナル風俗ニ合致シタル行為ト視難キモノヲ新スヘキハ勿論ナリ若シ然ラハ法律ハ莫クモ社會ノ秩序國家ノ安寧ニ關係ナキ行為ニマテ干渉スルモノト謂ハサルコトヲ得ス是レ宜ニ今時ノ法律思想ニ反スルモノニ非スレテ何ソヤ蓋シ羅馬ニ於テハ法律ノ發達未タ完カラス勸モスレハ法律ト道德トノ境域ヲ誤認シタルノ跡ナ

キニ非ス故ニ風俗ヲ害スルノ行為ハ又同  
時ニ法律ニ背クノ行為ナリト誤信シテ右  
ノ規定ヲ誤クタルヲ後世ノ學者立法者共  
ニ盲瞽シテ皆之ヲ必要ナリトスルニ至リ  
タルヤ亦知ルヘラス然レトモ羅馬ニ  
於テ風俗ナル文字力(Mores)同時ニ慣習法ノ  
意味ヲ有セシコトハ人ノ知ル所ナリ以テ  
其法律ト道德トヲ判明ニ區別セサリシヲ  
見ルヘシ今第十九世紀ノ終末ニ於テ新ニ  
我邦ノ法典ヲ編纂スルニ方リ仍ホ此舊套  
ヲ墨守スルハ本質ノ甚ク遺憾トスル所ナ  
ルヲ以テ茲ニ此修正案ヲ提出シタリ